

特別支援教育における魅力ある授業づくり実践編

知的障害特別支援学校中学部の作業学習

一働く意欲につなげる生徒の気持ちに基づいた単元計画一

< 中学部の作業学習のおさえ >

- 学部目標：活動への意欲と集団学習への意欲を高め、知識・技能を身に付け、生活自立を図る。
「生活自立」とは、大人の生活の基礎作りと捉える。
具体的には、安定して暮らすための「日常生活の基礎作り」、自立した生活のための「働く生活の基礎作り」、生活を楽しむための「余暇の生活の基礎作り」の三つに整理する。
- 中学部の作業学習は、「働く生活の基礎作り」を目指す。
重点：働くことの楽しさ、喜びを味わう
働くことの基礎基本となる力を身に付ける
作業班：木工芸班、縫製班、紙工班、陶芸班（1～3年の縦割り）

中学部段階の作業学習が、学部目標に基づき明確に示されています。

実践のポイント

- 誰のために何を作るのかという目的や見通し、自分からやろうとする意欲を大切にする。
具体的には、学習発表会でバザーを計画し、人に喜ばれたり製品が売れたりする経験を通して、作る喜びを感じると共に、目的を持って主体的に取り組む姿を育てたい。
一連の学習は、単元化して取り組む。また、**バザー単元のよさ**は、以下のように考える。
 - ・目的（販売のために製品を作る）が明確で、生徒にとって分かりやすい。
 - ・毎年行われる行事であり、2、3年生は前年度までの経験を活かすことができる。
 - ・自分たちで販売することで、作った製品を買ってもらう経験ができ、満足感や達成感をその場で味わうことができる。
 - ・家族や学校職員など身近な人に買ってもらい、肯定的な評価をしてもらうことで、自信を持つことができる。
- 生徒の気持ちに沿った授業の展開を考える。
単元計画に「生徒の気持ち」の欄を設け、生徒の気持ちを具体的に想像しながら生徒が意欲的に取り組む授業を考える。

作業学習の重点で押さえた「働くことの楽しさ、喜び」を味わわせるためのバザー単元の価値付けや、意欲を育てるためには「生徒の気持ち」に基づくことが示されています。

指導・支援の実際 ～生徒の気持ちの高まりを考えた単元計画

段階	生徒の気持ち	活動内容	目 標
導	<ul style="list-style-type: none"> ・バザーってどんなことをするのか。(1年生) ・にぎやかだな。 ・今年もお母さん来てくれるかな。(2・3年生) 	中学部バザーをしよう (全体) <ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会で中学部バザーをやることを知る。 ・バザーでどんなことをするのかを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バザーの様子が分かる。 ・これから始まる作業に対し、意欲や期待感を高めることができる。
入	<ul style="list-style-type: none"> ・ペン立てを作ったな。 ・こんなふうに使ってくれているんだ! ・ホワイトボード、作ってみたいな。 	紙工班がんばるぞ <ul style="list-style-type: none"> ・前期の活動を思い出す。 ・バザーで作るものを決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペン立てを作ったことや、友達にプレゼントしたことを思い出すことができる。 ・「作りたい」という意欲を持つことができる。

展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・どうやって作るのかな。 ・くるくる棒の作り方なら分かるよ。 ・色塗りをやってみたいな。 ・ちょっと難しいな。 ・うまくできた！ ・楽しいな。 ・1個できた！うれしいな。 	ホワイトボードを作ろう① <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードの作り方、自分の担当を知る。 ・試作品を作ってみる。 <ul style="list-style-type: none"> くるくる棒作り くるくる棒並べ（部品作り） 部品の端を切る 色塗り 組み立て 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の担当する工程や作り方が分かる。 ・できたときや分からないときの報告、依頼をすることができる。 ・その日の目標が分かり、それを達成できるように取り組むことができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇先生に見てほしいな。 ・もっと隅まで色を塗るといいの。 ・いろいろな色を作ったほうがいいんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学部の教師に試作品を見てもらい、評価やアドバイスをもらう。 ・何色が欲しいか、身近な教師にアンケートをとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の意見を聞き、改善点がかかる。 ・丁寧な言い方で質問をすることができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・くるくる棒、細く巻けるようになってきたぞ。 ・のりがない！先生に頼まないと。 ・部品を切るの、難しいな。 ・きれいな色に染まったぞ。 ・今日は〇色を塗りたいな。 ・明日は〇本作るぞ！ 	ホワイトボードを作ろう② <ul style="list-style-type: none"> ・準備、片付けをする。 ・担当する工程を少しずつ増やす。 ・日誌に目標や出来高を書いたり、項目に丸を付けたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から準備、片付けができる。 ・できたときや分からないときの報告、依頼をすることができる。 ・その日の目標が分かり、それを達成できるように取り組むことができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・先生、見て！ ・紙すきのカレンダーも素敵だな。 ・〇色が人気なんだ。 ・たくさん作らなくちゃ。 	紙工班バザーをしよう <ul style="list-style-type: none"> ・紙すきグループと一緒に模擬バザーを行う。 ・友達や教師に欲しい色や改善点などの意見を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作ったものを認められ、達成感を味わうことができる。 ・人気の色が分かる。 ・「もっと作ろう！」と意欲を持つことができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・細いくるくる棒がたくさんできるようになったぞ！ ・くるくる棒並べなら、僕に任せて！ ・〇〇くん、お願いします。 ・あと〇個作るぞ！ 	ホワイトボードを作ろう③ <ul style="list-style-type: none"> ・教師のアドバイスを受け、更に丁寧に自分の担当工程に取り組む。 ・教師や次の工程の友達に、報告や依頼をする。 ・日誌に目標や出来高を書いたり、項目に丸を付けたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の担当する工程を丁寧に 行うことができる。 ・手元をよく見て巻く。隅まで塗る。線に沿って切る。 ・教師や友達に報告、依頼をすることができる。 ・目標が達成できるように取り組むことができる。
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・お客さんが来てくれた！ ・お客さんがいっぱいだな。 ・全部売れた！うれしいな。 	バザーをしよう <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんと製品のやりとりをする。 ・「いらっしやいませ」「ありがとうございます」などの声を出し、接客する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品を手渡したり、お金を受け取ったりすることができる。 ・お客さんに買ってもらい、満足感を味わうことができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・みんな頑張っていたんだ。 ・〇〇さんの製品も素敵だ。 ・人がいっぱいだな。 ・うまく発表できたぞ。 	頑張ったね会をしよう（全体） <ul style="list-style-type: none"> ・バザー当日の様子をビデオで見る。 ・感想を発表する。 ・他の班の発表を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の頑張りを認められ、達成感を味わうことができる。 ・友達の頑張りを認めることができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・片付けも頑張ろう。 ・次は、もっとたくさん作るぞ！ ・お母さんにも褒めてもらいたいな。 	作業、お疲れさま！ <ul style="list-style-type: none"> ・今まで使った道具を片付ける。 ・2月の作業に向けて、作りたい製品を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張ったことや製品について発表することができる。 ・「またやりたい！」「〇〇を作りたい！」などと次の作業への意欲を高めることができる。

意欲的に取り組む作業学習にするために、単元計画に「生徒の気持ち」の欄を設けています。生徒の気持ちの高まりを想像することにより、バザーや製品作りに向けての活動が、生徒にとってどのような価値があるのか、また、目標達成に必要な支援が考えられます。このことが、教師のさせたい活動ではなく、生徒がやりたい意欲的な活動につながります。